



# 県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

## 輸血部

## 輸血って安全なの？

輸血とは、出血などにより血液が不足した場合や血液を作れない病気になった場合に、不足している血液成分を補充することです。この補充に用いられる血液成分(輸血製剤)は、無償のボランティアとして献血していただいた献血血液から作られ、献血から輸血用バックが出来るまでの工程は全て日本赤十字社によって行われています。

より安全に輸血療法が行われるよう日本赤十字社と大分県立病院では以下の対策を行っています。

### 日本赤十字社では

#### 〈受付、問診〉

献血は無償のボランティアではありますが、責任ある献血をお願いするため、受付時にご自身を証明できるものを提示してもらうとともに、健康状態に関する23項目の質問を行って献血者の健康状態および感染症にかかっているかを確認します。

#### 〈各種検査〉

献血時の血液を用いて、血液型および肝炎等の検査を行います。肝炎ウイルス検査は感染後すぐには検出できない期間があることから、遺伝子検査を加え、より厳密な検査を行っています。

### 大分県立病院では

患者さんの血液型検査等を行い、輸血療法に用いる血液製剤の種類を選択し、赤血球製剤については、実際に製剤と患者さんの血液を反応させて輸血を実施してもよいか最終確認を行います(写真①)。

また、患者間違いを防ぐために、製剤受渡時と輸血実施時等に医師・看護師・臨床検査技師が氏名および血液型、投与製剤等を声に出して確認作業を行うとともに、電子カルテ等を用いて認証作業を行っています(写真②)。

写真1



写真2



(輸血部 部長 宮崎 泰彦)

※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

(裏面をご覧ください)

## 入院前から行う切れ目のない退院支援

## 「退院支援」とは

患者さん、ご家族の方には聞き慣れない言葉かもしれませんが、「退院支援」とは患者さんとそのご家族が望む生活の場に、安心、安全に退院できるように支援することです。

## 【入院が決定したときから退院支援が始まります】

当院では入院が決定した時から治療内容や病状の変化、退院後の生活を見通して、患者さんが安心して療養生活を送ることができるように支援しています。患者さんやご家族の希望を聞きながら医師、看護師、薬剤師など病院スタッフが連携・協働し、切れ目のない退院支援を行っています。

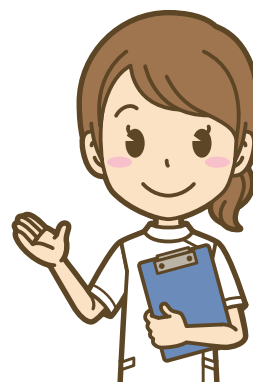
2019年5月に当院に開設された「患者総合支援センター」は、円滑な入院・退院支援のための調整や、患者さんやご家族の治療上の不安や悩みに対応する相談窓口を設けています。

## 【退院後に介護や医療処置が必要になったときは】

自宅での介護や医療処置について不安に思う方もいらっしゃると思います。そんな時、ご家族の介護負担を軽減するためにサービスの導入や変更、慣れない医療処置の見守りやお手伝いのために訪問看護の提案・紹介など、患者さんやご家族の希望を聞きながら、お一人お一人にあったサポートを行っています。

## 《必要時、ご提案・ご紹介しています》

- ・介護保険の説明
- ・介護サービスの導入、変更
- ・手すりやスロープ等の設置
- ・ベッドなど福祉用具のレンタル
- ・訪問看護・訪問医療の導入



## 【病院から地域への引き継ぎもしています】

自宅での介護や医療処置などの療養環境を整えるために、必要に応じて退院の前にケアマネージャーや訪問看護師などに来院していただき、患者さん、ご家族と一緒に話し合いをします。看護師は患者さんやご家族が要望を伝えやすい雰囲気作りや、ケアマネージャーや訪問看護師への橋渡しをします。患者さんやご家族の希望に添って、ケアマネージャーや訪問看護師などに自宅での体調管理や医療処置の見守りとお手伝いをお願いし、病院から在宅に引き継いでいます。



看護師ほか医療スタッフの  
臨時職員を募集しています。  
詳しくはこちら

(成人・老年NP県病専門看護師 岡田 茂美)